

Q 8 : 小学校プログラミング教育に関する評価はどのようになっているのでしょうか。

A 8 : プログラミングのスキルそのものを評価したり、評定をしたりするわけではありません。ただし、成長を大きく感じた児童に対して、その評価を適切に伝えることは大切です。小学校プログラミング教育の評価については、以下のように示されています。

－プログラミング教育の評価－

- プログラミング教育を各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、「プログラミング的思考」等を育むとともに、それぞれの教科等の学習をより深いものとするのが重要です。
- プログラミングを実施した際の評価については、あくまでも、プログラミングを学習活動として実施した教科等において、それぞれの教科等の評価規準により評価するのが基本となります。すなわち、プログラミングを実施したからといって、それだけを取り立てて評価したり、評定をしたりする（成績をつける）ものではありません。
- その上で、児童の資質・能力の伸びを捉え、特に意欲的に取り組んでいたりと、プログラムを工夫していたりなど、目覚ましい成長のみられる児童には、機会を捉えてその評価を適切に伝えること等により、児童の学びがより深まるようにしていくことが望ましいと考えられます。
- 教育課程内で各教科等とは別に実施する場合（C分類）は、教科等の評価規準により評価したり、評定したりすることはありませんが、それ以外は上記と同様に児童を見取り、その評価を適切に伝えるなどすることが望ましいと考えられます。

『[小学校プログラミング教育の趣旨と計画的な準備の必要性について（2）](#)』より

『[小学校プログラミング教育の手引（第二版）](#) P20～P21』より